



エネルギー

福岡県では、地球に優しく、安定してエネルギーが使える環境づくりに取り組んでいます。わたしたちの身近なエネルギーについて学んでみましょう。

エネルギーってなんだろう？

明かりをつけたり、お湯を沸かしたり、車を動かしたりする力のことを「エネルギー」っていうよ。「仕事をする力」ともいうんだ。

エネルギーはどうやってつくるの？

わたしたちにとって一番身近なエネルギーは電気だね。電気の多くは天然ガスや石油、石炭を燃やしてつくるんだ。天然ガスや石油、石炭には限りがあるから、大事に使わないといけないうね。

これからのエネルギーを見てみよう

身近なエネルギー



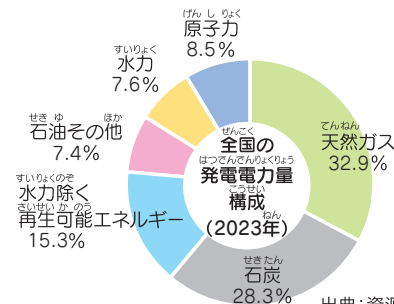
〈電気を使用〉



〈ガスを使用〉



〈ガソリンを使用〉



石油は残り約50年で使い終わってしまうといわれているよ。



出典：資源エネルギー庁HP
公開資料（県で一部加工）

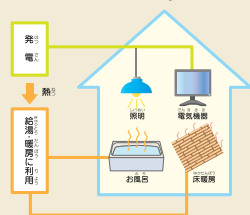
自然からつくるエネルギー「再生可能エネルギー」

太陽や風、川を流れる水の力などでつくられるエネルギーのことだよ。

電気をつくる時に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど出さないし、資源が無くなることを心配しなくていいんだよ。

県内の再生可能エネルギー発電設備導入容量は全国9位で、福岡県はとても進んでいるんだ。

エネルギーを無駄なくかしこく利用「コージェネレーションシステム」



コージェネレーションシステムとは、電気と熱を同時につくるシステムのことだよ。電気をつくり、その時に生じる熱で部屋を暖めたり、お湯を沸かしたりすることができて、とても環境に優しいんだ。



太陽の光から電気をつくる
太陽光発電



風の方で電気をつくる
風力発電



北九州市 市民太陽光発電所
(北九州市)



北九州響灘風力発電所
(北九州市)



水の力で電気をつくる
水力発電



木や生ごみなどで電気をつくる
バイオマス発電



白糸の滝 小水力発電所
(糸島市)



おおき循環センター
「くるるん」(大牟田市)

福岡県から始まる“ワンヘルス”の取り組み

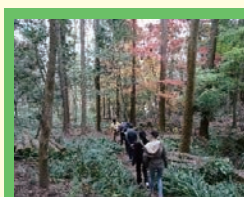
福岡県では、人と動物と環境の健康は1つとして考え、それらを守るために、医師や獣医師、環境の専門家だけでなく、県民みんなで考えて行動する「ワンヘルス」の取り組みを全国に先駆けてスタートしたんだ。



福岡県には、ワンヘルス体験コースやワンヘルスの森ミュージアムを設置した「ワンヘルスの森 四王寺」があって、自然の中でワンヘルスを体験したり、学んだりすることができるよ。

みんなも、生活の中にある身近なワンヘルスを見つけてみよう。

詳しくはこちら



ワンヘルス体験コース



ワンヘルスの森ミュージアム

